

Fureai

Fujita Related All Information

2023 1.1

Vol.

292

安全、健康第一で 幸せな一年に

【新年を迎えて】

社長より年頭の挨拶

【年男・年女 大集合!!】

卯年生まれ43名の今年の抱負

【各種報告】

2022年度上期 優秀小集団

iサーバークラウド移行完了

2023 年頭の挨拶

明けましておめでとうございます。
新年にあたりご挨拶を申し上げます。

明けましておめでとうございます。

昨年は、世界各国でのインフレやロシアのウクライナ侵攻、また戦争勃発に起因したエネルギーや食糧などの更なる物価上昇、急速な円安の進展と、世界経済は更に不確実性が高まった年となりました。国内の鉄鋼業界では、自動車業界を中心に需要が落ち込みながらも値上げ基調が継続した稀有な一年となりました。藤田金屬はここので、取り扱い数量は全体需要に比例して減少しつつも、根気強い値上げ活動が実を結び、順調な業績を残しています。これは社員・役員の皆さんの日頃の仕事の成果と感謝しています。

アフターコロナにおいては、予想し得ない事態が発生することがもはや常態化しており、やはり企業や個人には、その変化への順応が求められます。年度初めに行った第6期中期経営計画の説明時にもお話ししたように、国内の鉄鋼需要のパイが今後少なくなる中、藤田金屬が生き残り、成長していくためにも、引き続き中計を軸に一人ひとりが成長することで、会社全体をREBUILDしていきます。

最後に、12月28日時点で今年度は7件の災害が発生しています。残念ながら重大災害も発生させてしまいました。改めてになりますが、我々が扱っているものは重量物です。特に、落下させ

てしまった場合は重大事故に繋がります。現在の移動のさせ方や高さを含めた保管状況を今一度見直していただきたいと思えます。

以上、本年も安全、健康第一で過ごしていきたいと思います。皆さんとご家族にとつて健康で幸せな一年となりますよう祈念し、新年の挨拶といたします。

が、今年も例年と少し毛色を変え、私の大目標と今年意識すること、それからプライベートの目標を掲載させていただきます。皆さんも新しい年の初めにプライベートも含め、目標を立ててみるのも良いかもしれません。

今年に限らない大目標

私は、藤田金屬を成長させることによつて、社員・役員の皆さんとご家族、取引先企業の方々、地域を幸せにしていきたい。そのために、会社の成長に良い影響を与える思考・行動を実践します。

特に今年、以下の2点を意識します。

● 社長という立場を生かした情報収集で、これから起こる変化を可能な限り先読みし、その変化に対する有効策を考え、実行する。

● 会社を、社員・役員が成長できる場にする(会社を構成する社員・役員が成長しなければ会社の成長は成し得ない)。

● 身体が資本。健康維持のために週1回は30分以上運動し、適度な節制を心がける。

● 少なくとも月1回は経験したことのない新しいことをする。その時の自分の感情を大事にする。

● 社長という立場を生かした情報収集で、これから起こる変化を可能な限り先読みし、その変化に対する有効策を考え、実行する。

● 身体が資本。健康維持のために週1回は30分以上運動し、適度な節制を心がける。

● 少なくとも月1回は経験したことのない新しいことをする。その時の自分の感情を大事にする。



代表取締役社長

今井 幹太

2023年1月5日

2022年度 上期
小集団活動

優秀小集団

- 1 活動選定の経緯と概要
- 2 苦労したこと、
苦労に対して工夫したこと
- 3 活動の成果

相互移管における梱包仕様の統一化

長野コイルセンター／L、ML、台木、R合同

- 1 相互移管において、梱包仕様にバラつきがあり、指示書のコードにマッチしない現状がありました。そのため、作業者が困惑せずに作業ができるよう仕様統一を図り、梱包のムダ排除（効率化）、過剰梱包の削減（梱包費削減）に繋げることを目的に選定しました。
- 2 L、R、台木と複数のラインでの活動だったことや、リーダーを2人体制にしましたが、2人ともリーダーは初めてだったため、単純に小集団活動を進めることが大変でした。しかし、話し合いはやりやすく、決め事やお願い事はスムーズに行うことができました。
- 3 小集団活動の流れを勉強するつもりで、結果よりも基本的な活動を重視して行っていました。成果の方も当初の目的とズレてしまった部分がありました。作業の効率化に大きく貢献できる結果が得られて良かったと思います。

評価ポイント

今期4月より加工が立ち上がり、様々な課題が発生する中で、L加工、R加工、バラシ加工に共通する課題である梱包にフォーカスし、梱包仕様統一化で「過剰梱包廃止」「梱包簡素化」を推し進め、効率化に大きく貢献した。

販売運賃の削減（前年活動の動画作成）

東北コイルセンター／事務所Aグループ

- 1 関東コイルセンター工業組合の小集団発表会へ参加するためにスタートした活動でしたが、新型ウイルス禍で急遽中止となりました。ですが、一度スタートしていた活動だったので今後の参考にもなると考え、継続させていただいたのが活動の経緯です。概要としては、発表用の動画作成です。
- 2 パワーポイントの操作に不慣れなメンバーばかりでしたので、操作方法やデザイン等を調べて分担しながら作成し、また、デザインがバラバラにならないように話し合いながら活動しました。撮影でも、照明の明るさや文字の見え方の調整がうまくいかず、何回も撮り直しを行いました。
- 3 初めは大変だなと感じていた作業も、進めていくうちに良いものになりました。メンバー全員でアイデア・意見・個性を出し合いながら作成することができました。今後、同様の活動があった場合も参考となる活動にすることができました。

評価ポイント

関東コイルセンター工業組合の小集団発表会への参加を予定し活動をスタートしてもらったが、新型ウイルス禍で中止となった。途中まで進めていたため、発表用にブラッシュアップを行うことと、今後ほかでも参考になるような動画作成をすることをコミットして、活動継続により最後までやり切ったことを評価した。

iサーバー(基幹業務sysサーバー) クラウド移行完了報告

情報システムチームリーダー

藤田金属では、基幹業務システムのサーバーはオンプレミスと言われる据え置き型のサーバーが5拠点(本社、燕支店、三条支店、長野CC、東北CC)に設置されていました。しかし設置から7年超経過し、2021年度より入れ替えの検討を進めてまいりました。

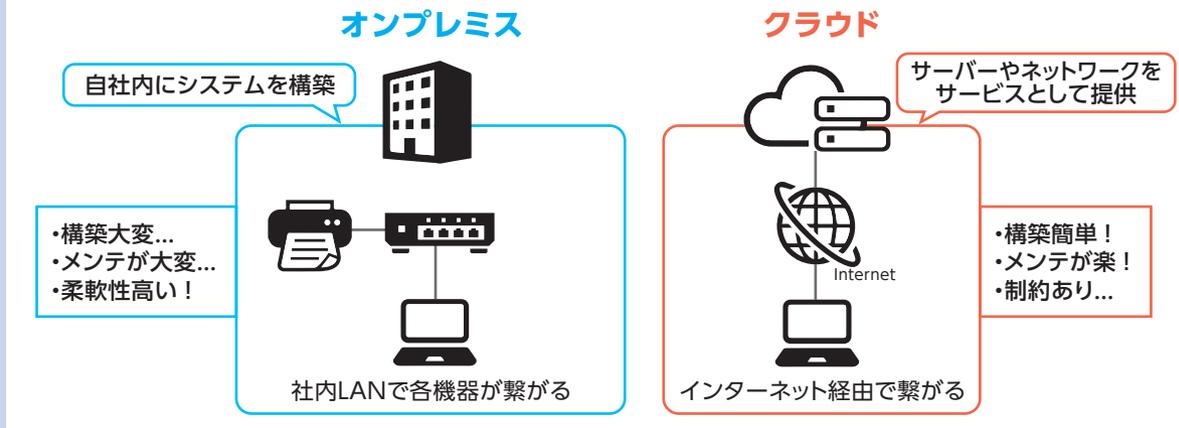
候補としては、①今まで通りオンプレサーバーの入れ替え、②クラウドサーバーへ移行の2パターンで検討を進めました。情報システムチームとして、①は今までに経験があるので大きな問題はなく、一方で②に関しては、経験や他社による同規模の構築事例がないため、ベンダーとの打ち合わせを重ねていましたが、「レスポンス」に対する不安から①へ傾きかけていたところ、社長の「クラウドサーバーへの移行、一択です」というお言葉でクラウド移行へ舵を切ることになりました。

その後はクラウド移行実現に向けてベンダー、通信業者、コンサル等のお力添え、何より皆さまのご協力により6月に長野CC、7月に燕支店、8月に東北CC、9月に三条支店、10月に本社サーバーのクラウド移行が完了し、運用を開始しています。一番心配していた「レスポンス」も想像していたよりも速くホッとしています。

クラウドサーバーへ移行したことにより、データバックアップ用のテープ交換作業が不要となり、サーバー設置拠点の作業が軽減されたこと、複数の堅牢なデータセンターでシステムを稼働させることにより、災害等で基幹業務が停止するリスクが軽減されました。上半期はクラウドサーバーの稼働をメインに活動してきましたが、今後さらに安定稼働に向けたネットワークの整備を含め、運用面の充実化を図るべく活動してまいります。

最後にシステムに関する要望があればお気軽にお声かけください。実現に向けて一緒に取り組んでまいります。

オンプレミスとクラウドのイメージ



社内にサーバーを設置し、社内でLANを繋ぎ各機器(パソコンや複合機、Wi-Fi等)を使用していましたが、サーバーをクラウド化することで社内にサーバーを設置する必要がなく、インターネット経由で各機器の使用が可能になりました。